

先駆的な酪農経営を実践し、栄えある全国表彰



緑白綬有功章

長峯一雄さん
(65歳・五日市)

公益社団法人大日本農会（東京都）の平成27年度農事功績表彰式が11月17日、東京都の石垣記念ホールで行われ、五日市で酪農を営む長峯一雄さんが、地域農業の発展に貢献した功績により「緑白綬有功章」を受章しました。

長峯さんは、フリーストールなどの新技術体系の導入をはじめ、粗飼料生産や家畜排せつ物処理の共同化などで規模を拡大。収益性の高いゆとりある酪農経営を確立し、町のトップレベルの酪農家として地域を先導しています。町畜産開発公社の副理事長なども務め、東北一の酪農

郷づくりに貢献されました。長峯さんは「実践してきたことが認められて大変うれしい。新葛巻型酪農構想の実現に向けて、力の限り協力していきたい」と気持ち新たにしました。

当町における受章は、平成15年度の八幡武雄さん（星野）以来3人目となります。

■公益社団法人大日本農会 明治14年に設立された、我が国で最も歴史ある全国的な農業団体。総裁は秋篠宮文仁親王殿下。農事功績表彰事業は明治27年に創設され、毎年11月に総裁殿下の御名をもって表彰を行い、平成27年度で第99回となります。

大日本農会 農事功績表彰 長峯一雄さん 緑白綬有功章を受章

◆ 地方自治功労 ◆



橋藤五郎さん
(76歳・星野)

昭和47年から現在まで43年間の長きにわたり、町統計調査員を務められています。この間、国勢調査や農林業センサスなど各種統計調査に従事するとともに、町民への統計思想の普及と町の発展に多大な貢献をされました。

◆ 産業経済功労 ◆



前原頼子さん
(69歳・五日市)

平成13年から平成23年までの10年間にわたり、県農業農村指導士を務められたほか、町農業委員やJA新しいわて女性部葛巻中央支部長などの要職を歴任。持ち前のリーダーシップで町の農業振興に多大な貢献をされました。

◆ 保健福祉功労 ◆



佐藤静枝さん
(74歳・浦子内)

平成4年から平成25年までの21年間の長きにわたり、民生委員・児童委員を務められました。地域住民の相談相手として、卓越した指導力により町民の安心確保に尽力。町の保健福祉の発展に多大な貢献をされました。

◆ 感謝状 ◆

小苺米 晴子さん (89歳・盛岡市)

遠藤 須美夫さん (83歳・盛岡市)

中心市街地の活性化に向けて平成26年12月18日、新町地区に所有する家屋と土地を寄贈され、町の振興に多大な貢献をされました。お二人は姉弟で、当町新町地区の出身。現在は盛岡市にお住まいです。

◆ 文化功労 ◆



下道 和身さん
(74歳・遠矢場)

昭和60年から現在までの30年間の長きにわたり、江川民謡会（現江川民謡愛好会）会長を務められています。平成5年からは、町文化協会理事を務めるなど、豊富な識見により町の文化振興に多大な貢献をされました。



受賞を喜ぶ藤森君（中央）と菊池校長。左は盛岡税務署の佐山署長

「税の作文」で盛岡税務署長表彰 葛巻中3年の藤森裕一君

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した中学生の「税についての作文」で、葛巻中3年の藤森裕一君が盛岡税務署長表彰を受賞しました。盛岡管内8市町から896作品の応募があり、同表彰受賞者は2人のみ。

11月17日、同校で賞状授与式が行われ、菊池敏宏校長と藤森君が出席。盛岡税務署の佐山博康署長から藤森君に賞状と記念品が贈られました。

藤森君の作文の題名は「税の行き場」。藤森君は、震災復興や日常生活のさまざまな場面に税金が使われていることを知り「税は国民が手を取り合い、お互いの幸せを実現するシステム。喜んで払いますと言える人間に成長したい」と思いを作文で表現しました。



交通安全功労功績章を受章 漆真下トヨさん（橋場） 高村 恵子さん（茶屋場）

市町村交通指導員表彰 2人に県知事から功績章

11月4日、平成27年度正しい交通ルールを守る運動県民大会（県交通安全対策協議会主催）が盛岡市で開催され、その席上で漆真下トヨさんと高村恵子さんに県知事から交通安全功労功績章が授与されました。

お二人は町交通指導員として、20年以上の長きにわたり街頭指導や交通安全教室を行うなど、交通安全の意識啓発に尽力され、交通事故の防止、減少に貢献されています。このほか、同指導員の山形鏡子さん（小屋瀬）が県交通指導隊連絡協議会長表彰（勤続5年以上）を受賞されました。



右から橋本秀雄副団長、觸澤義美副団長、鈴木重男町長、遠藤正樹団長、本地孝見本部長、林栄治副団長

県消防協会100周年記念表彰 町消防団が特別表彰

11月1日、県消防協会設立100周年記念式典が盛岡市で開催され、その席上で町消防団（遠藤正樹団長）が操法大会成績優秀として特別表彰を受賞。4日に役場を訪れ、鈴木重男町長に受賞を報告しました。

町消防団は、4年おきに開催される全国消防操法大会・小型ポンプの部に平成10年から連続5回出場し、平成14年には準優勝の成績を収めています。